

静岡県博物館協会会報

No. 71

静冈の博物館



今年度新加入した「かんなみ仏の里美術館」

静岡県博物館協会

平成25年度静岡県博物館協会 役員会・総会

日時：平成25年5月23日（木）

場所：静岡県立美術館 講座室

役員会 13：30～14：30

総会に先立ち役員会が開催され、平成24年度の事業報告、決算、平成25年度の事業計画、予算案、及び新規加盟館の入会について審議されました。

静岡県博物館協会 役員名簿（敬称略）

会長：芳賀 徹（静岡県立美術館長）

副会長：秋山信彦（東海大学海洋科学博物館長）、中村邦明（浜松市美術館長）

理事：中野浩一郎（下田海中水族館総支配人）、木村 智（熱川バナナワニ園長）、
岡田イツキ（MOA美術館長）、鈴木敏中（三島市郷土資料館長）、
峰田 武（佐野美術館理事長）、漆畑 潔（フェルケール博物館長）、
落合偉洲（久能山東照宮博物館長）、山田真才（静岡市立登呂博物館長）、
堀切正人（常葉美術館長）、鈴木敏則（浜松市博物館長）

監事：佐野勝美（駿府博物館長）、田中豊稲（静岡市美術館長）

総会 15：00～16：30

1. 開会

出席29、委任状35、計64で、協会加盟73の過半数に達したため、協会規約第15条の規定により総会は成立しました。

2. 会長あいさつ

静岡県立美術館長 芳賀 徹

3. 議事

（1）平成24年度事業実績及び決算報告、監査報告

事務局からの報告により原案どおり承認・可決されました。

（2）平成25年度事業計画及び予算

事務局から原案が提出され承認・可決されました。事業の主な項目は次のとおり。

- ・地域セミナーの開催
- ・研修会・講習会の実施
- ・講演会等の共催・後援
- ・静岡県博物館協会会報（No.71,72）の発行
- ・静岡県博物館協会研究紀要（第37号）の刊行
- ・静岡県博物館協会ホームページの保守・運営
- ・東海地区博物館連絡協議会への参加（理事会・総会：平成25年7月18日）
- ・静岡県文化財等救済ネットワークへの参加

（3）平成25年度地域セミナーについて

採択事業について事務局から原案が提出され、原案どおり承認されました。

（4）平成25年度新規加盟館について

「かなみ仏の里美術館」「静岡科学館る・く・る」の入会が原案どおり承認されました。

（5）その他

新規加盟館2館による施設概要等の説明が行われました。また、富士山世界文化遺産について、県世界遺産推進課大村主査に講演いただきました。

4. 閉会

（事務局 阿形高紘）

東海地区博物館連絡協議会

愛知県、山梨県、神奈川県、岐阜県、静岡県各県博物館協会が組織する東海地区博物館連絡協議会の理事会・総会が、本年度の当番県である愛知県の名古屋市科学館サイエンスホールにおいて、7月18日(木)に開催されました。

理事会(11:30~12:15)は、日本博物館協会1名、協議会の理事9名、監事1名、事務局3名の計14名で開催され、総会(13:30~14:45)は、81名の会員の参加で開催されました。理事会、総会とも、次の議題について審議しました。

1. 平成25年度理事及び監事の選任について
2. 平成24年度事業報告及び決算報告について
3. 平成25年度事業計画及び予算案について
4. 平成26年度開催県について
5. その他
 - (1) 日本博物館協会の主要事業について(日本博物館協会)
 - (2) 全国歴史民族系博物館協議会について(名古屋市博物館)

1については、24、25年度の任期で理事及び監事が選任されました。ただし、山梨県は秋に開催される県博物館協会で理事・監事を決定する予定となりました。4の来年度開催県については、持ち回り順により山梨県と決定されました。5(1)については、日本博物館協会の主要事業や今後の活動内容の説明いただきました。

総会ののち、兵庫県立美術館長 蓑豊氏に、「あさっての博物館」についてご講演いただきました。

また、名古屋市科学館展示室プラネタリウムを観覧させていただき、懇親会も開催されました。

(事務局 阿形高紘)

新加盟館園紹介

■静岡科学館る・く・る

〒422-8067

静岡県静岡市駿河区南町14番25号エスパティオ8~10階

静岡科学館る・く・るは、「みる・きく・さわる」をキーワードに科学の不思議を楽しみながら学べる参加体験型科学館です。館内はふれあいゾーン・いきいきゾーン・おどろきゾーンの3つに分かれており、約60の常設展示物が設けられています。視覚が頼りにならない空間で、手足や耳の感覚をすまして進む「まっくら迷路」や、ライドに乗り込み、不思議なイリュージョン体験ができる「おどろきスライダー」など、体験を通して科学に親しむことができます。



毎土日に年間200回以上展開される自由参加事業では、大規模なサイエンスショーや科学工作、実験演説、研究者を招いてのサイエンスカフェなど、小さなお子様から大人まで楽しんでいただけるメニューをそろえています。

学校との連携にも積極的に取り組んでおり、教員研修支援や教材開発、学校と博物館をつなげる「教員のための博物館の日in静岡」の開催など、年間を通してさまざまな事業を展開しております。

また、社会と科学技術をつなぐことで、科学技術を文化として醸成することを目的に、平成22年からの5年計画で科学技術振興機構(JST)の支援事業として、「静岡のひと・もの・ことに生命を吹き込む科学技術文化の醸成事業」に取り組んでいます。この事業では、「科学コミュニケーターの育成」、「科学コミュニケーション活動の展開」、「科学ネットワークの構築」の3つの活動を柱とし、100以上のイベントが参画するスタンプラリー「しずおか科学技術月間」や、地域で活躍する人材を育成する「科学コミュニケーター育成講座」などに取り組んでおります。



平成26年3月には開館から10周年を迎え、新しい展示物の公開も予定しています。ぜひ一度足を運んでみてください。スタッフ一同お待ちしております。

池田博史(静岡科学館る・く・る)

■かなみ仏の里美術館

〒419-0101

静岡県田方郡函南町桑原89-1

TEL 055-948-9330 FAX 055-978-0894

かなみ仏の里美術館は、函南町桑原区で村のお堂「桑原薬師堂」に安置され、里人の厚い信仰心に支えられ護られてきた24体の仏像群を、後世に保存継承するとともに、多くの方々に鑑賞してもらうため平成24年4月14日に開館しました。

外観は、仏像を安置する堂・人々の集う堂をコンセプトに、建物の両端に方形の屋根を配した造りとなっています。箱根山麓の谷地に位置し、自然と近代的な建物とのロケーションがよいということで平成24年度静岡県景観賞（公共施設部門）に選ばれました。また、庭園は当地の里山を再現し、四季の移ろいを味わうことができます。

鎌倉時代初期の阿弥陀如来坐像及両脇侍像は、伊豆市修禅寺本尊大日如来坐像と共に、慶派仏師實慶の作として現存が確認される4体の内の3体です。平成3年に大英博物館「日本の鎌倉時代展」に出展、翌年に国指定重要文化財に指定されました。県指定有形文化財の仏像も16体展示しています。薬師如来坐像・十二神将立像・毘沙門天立像・聖観音立像・地藏菩薩立像で、中でも十二神将立像は県内では唯一の指定です。

資料展示室には、基本的な仏像の役割や種類、展示する仏像の由来や解説、伊豆における慶派の仏像紹介などを壁面グラフィックや展示パネルで示しています。土曜日・日曜日・祝祭日には、ボランティアガイドによるご案内もしております。

アットホームな小さな美術館です、皆様方のお越しをお待ちしております。 長野康敏（函南町教育委員会）



事業推進グループ

事務局とともに博物館協会の事業を検討・推進する事業推進グループは、今年度から以下の方々をお願いしています。（任期2年）

事業推進グループ名簿（敬称略）

深沢香奈（佐野美術館 広報グループ）、土森智典（上原近代美術館 主任学芸員）、木口亮（沼津市明治史料館 主任学芸員）、伊藤芳英（東海大学海洋科学博物館・自然史博物館 学芸員）、椿原靖弘（フェルケール博物館 学芸部長）、小川かい（静岡市美術館 学芸員）、伊藤賢一朗（資生堂企業資料館 学芸員）、久野正博（浜松市博物館 学芸員）、前田一成（浜松市美術館 学芸員）、山口聰太郎（文化財を守る会）
新田建史、南美幸、角田新、福土雄也、浦澤倫太郎（事務局・静岡県立美術館）

研究紀要（No.37）の原稿を募集します

1. 投稿を受け付ける原稿

（1）内容規定

加盟館園職員が従事している職務（展示、調査研究、保存、教育普及、その他）に関する論文、報告、事例紹介、収蔵品紹介等。

（2）執筆者規定

加盟館園職員一人もしくは複数人の執筆によるものとします。

複数人による場合、全執筆者の1/3以上が加盟館園職員であることを条件とします。

※入稿規定の詳細については、研究紀要の末尾を参照して下さい（県博協のホームページにも掲載しています）。

2. 申し込み締切日・日程

申込締切 平成25年11月30日（土）

入稿締切 平成26年1月31日（金）

3. 連絡先・担当

（事務局） 福土・浦澤